

**C-（15） 「 よりよい学校生活・集団生活の充実 」  
～あなたは集団を高めるためにどんなことに取り組みますか。～**

## 資料名

## 小さな一歩

- 1 日時 令和2年10月23日 14:00～14:50
- 2 学年 第1学年
- 3 場所 新館
- 4 ねらい

美化委員長の理恵は委員会の中で委員との間には溝が生じていることを感じる。理恵は、親友の麻衣との会話の中から、これまでの考え方ではなく、よりよい委員会にするために必要なことに気づく。理恵の心情の変化から、よりよい集団にするためには協力や仲間を思うことなどが必要であることに気づく。さらに学校という場所が単に勉強をするための場所ではなく、達成感を味わうことや将来のための生きる糧になることを学ぶ場所であることに気づき、生徒一人一人が集団の充実のために行動しようとする態度を育てる。

## 5 主題設定の理由

## ○ 教材観・題材観

本時の主題は、「教師や学校の人々を敬愛し、学級や学校の一員としての自覚をもち、協力し合ってよりよい校風をつくとともに、様々な集団の意義や集団の中での自分の役割と責任を自覚して集団生活の充実に努めること。」の内容項目に当たる。

生徒にとって学級や学校は、生活の大半を過ごす大切な場である。学校は、公的な集団生活である点で私的な集団生活の場である家庭とは大きく異なっている。互いの人間関係を深め、協力して生活することを通して、尊敬や感謝の気持ちが育まれていく。

人間は、他の人間と関係をもち集団をつくり上げ、様々な集団や社会の一員として生活している。それぞれの目標や立場が異なる集団に所属しながら、共同して日々の生活を営んでいる。人が、それぞれの集団の一員としてよりよく生きていくためには、自分の属する集団の意義や目指す目的を十分に理解し、自分の役割と責任を果たし集団生活の充実に努めることが大切である。そのためには集団で規則を守り、互いに協力し励まし合う関係づくりをすることが重要である。集団の中で自分の役割や責任を自覚することは、集団生活が充実するだけにとどまらず、自己の資質・能力を高め自分自身の向上につながることになる。

## ○ 資料観・指導観

本資料は、美化委員長の理恵の話である。委員長の仕事を頑張る理恵だが、他の委員との間には溝がある。委員会後にモヤモヤしたままの理恵は帰り際に親友の麻衣と出会う。麻衣の話から、理恵は大切なことに気づく。理恵の心情の変化から、集団の充実のために必要なことについて考えることができる資料である。

指導に当たっては、理恵の心情の変化を取り上げ、集団の充実について考えさせる。理恵の委員会に対する姿勢から、生徒自身の学校という場所に対する価値を再定義させるように進めていく。

まず、麻衣との話からドキッとした理恵の心情について考える。その後、理恵の行動にどのような変化があったのかを考える。そして、理恵が頑張る委員会での出来事をもとに、「なぜ、勉強も勉強以

外のことに一生懸命取り組むのか」について考えさせる。学校は勉強だけをする場所ではない。委員会や係の仕事や部活動、行事もある。その全てを一生懸命に取り組むよう指導もしている。11月に行われる赤船祭に向けて、生徒一人一人の中で、勉強も、勉強以外のことも一生懸命に取り組む意味を考えさせたい。個人の意見を短冊に書き、黒板に貼っていく。その際に類型化しながら掲示させ、クラスの仲間の意見を見ることができるようにする。

展開前半では、短冊に書いた個人の意見を発表する。短冊に書いた意見を類型化し、新しくグループをつくる。その後、似た意見をもつ新グループで意見をまとめ、グループに名前を付ける。その後、グループ名をもとに生徒同士で意見交流を行う。生徒同士での意見の交流が難しい場合は、「本当に達成感が必要？」や「なぜ〇〇グループなの？」、「具体的に何が将来のためになるの？」など、自分の考えを深めることができるようする。「協力」「仲間」「達成感」「将来」などのキーワードが出てくることが期待される。

展開後半では、前半で出てくるであろう「協力」「仲間」「達成感」「将来」などの言葉を取り上げ、自分自身が思う「学校という場所」について考えさせる。ワークシートを用いて、自分自身の考えを、これまでの経験をもとにまとめさせる。学校は勉強をするだけの場所ではない。仲間との関わりや、協力すること、困難に立ち向かい、集団としてそれを乗り越えることを通して、社会で生き抜く力を育む場所である。学校という場所の再定義から、集団生活の充実に向けて行動する態度を育てたい。

## 6 本時の展開

### (1) 準備物

掲示物・短冊・ワークシート

### (2) 学習の流れ

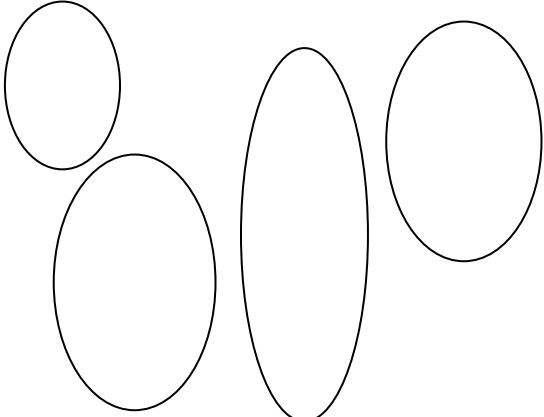
学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
<b>1 導入 [1分]</b>		
○本時でやることを確認する。	「今日は美化委員会の話から学び、考えていきましょう。」	・長くならないようにすぐに資料に入る。
<b>2 展開前半 [30分]</b>		
○資料「小さな一歩」を読む。 P54 8行目まで		・範読後、登場人物の確認は素早く行う。
○理恵の気持ちについて考える。Part 1 (5分) 少人数グループで共有する。 数人が発表する。	発問 「理恵はなぜドキッとしたのだろうか。」 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何かに気づいた。</li> <li>・今までの自分にはない考えを聞いたから。</li> <li>・美化コンクールの仕事がいっぱいで、花のことなど考えていなかったから。</li> </ul> </div>	・理恵と美化委員会での出来事について確認する。
○理恵の気持ちについて考える。Part 2 (5分) 少人数グループで共有する。 数人が発表する。	中心発問 「理恵のこれからの小さな一歩とはどんな一歩だろうか。」	

<p>○理恵の姿について考える。 (2分)</p> <p>○学校の意義について考える。 <b>出し合う</b> 短冊に中心発問に対する考えを書く。(5分)</p> <p><b>比べ合う</b> 全員が発表し、黒板に貼りに出る。 (意見を類型化しながら掲示させる。)</p> <p>→考えの近い人とグループを作る。席を移動する。</p> <p>○席の移動後、新グループで意見をまとめ、グループ名を考える。</p> <p>○出てきたグループ名を発表し、考えを交流し合う。自分の意見を発表したり、クラスメイトの考えに賛同したり、質問したりする。</p>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会をより良くする。</li> <li>・自分の考え方にみんなの考えをプラスする。</li> <li>・みんなが納得できる委員会にする。</li> </ul> </div> <p>発問 「理恵の姿を一言で表すと？」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>一生懸命・全力・頑張る・はりきっている・・・</p> </div> <p>深める発問 「なぜ、勉強も勉強以外のことにも一生懸命取り組む必要があるのだろうか。」</p> <p>(補足説明) 「学校は勉強だけをする場所ではない。委員会も係の仕事も行事もある。なぜ、勉強以外のことにも一生懸命取り組む必要があるのだろうか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協力することを学ぶため。</li> <li>・達成感を味わうため。</li> <li>・一人ではできないことを経験するため。</li> <li>・できないことをできるようにするため。</li> <li>・社会に出たときに必要な力をつけるため。</li> <li>・将来のため。</li> </ul> </div> <p>【グループ名の例】 達成感グループ/協力グループ/将来のためグループ・・・など</p> <p>話が進まなければ・・・ 「達成感って本当に必要？」 「なぜ○○グループなの？」 「具体的に何が将来のためなの？」</p>	<p>・この発問は深める発問に繋げるものとし、キーワードを出させる時間とする。</p> <p>・視点が一方に傾いた場合、「○○(反対)の考えもあると思うけど、どう思う」と質問を投げかける。</p> <p>・答えを探すのではなく、考えを深める場として交流させる。 ・一人の生徒に質問が集中しないようにする。</p>
---	---	--

3 展開後半 [16分]		
<p>○ワークシートに書く。            発問に対する考えをまとめることが難しい生徒は感想・振り返りを書く。            (10分)</p> <p>○数人が書いた意見を発表する。(6分)</p>	<p>発問            「あなたは集団を高めるためにどんなことに取り組みますか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と協力する。</li> <li>・何事にも一生懸命取り組み、自分のことだけでなく、周囲へ声かけをする。</li> <li>・自分の主張だけでなく、仲間の意見も尊重する</li> </ul> </div>	<p>・自分なりの考えが持てるように、生徒の書いた短冊に印を付けておく。</p> <p>【キーワード】            協力/仲間/達成感/将来・・・など</p>
4 終末 [3分]		
<p>○教師の説話をきく。</p>		<p>・生徒の考えをもとに学校の意義やよりよい集団について語る。</p>

(3) 板書計画

生徒が張り出す時に類型化しながら張る。



なぜ、勉強も勉強以外のことにも一生懸命取り組む必要があるのだろうか。

- ・委員会をより良くする。
- ・自分の考え方を変える。

理恵のこれからの小さな一歩とはどんな一歩だろうか。

- ・何かに気づいた。
- ・今までの自分にはない考えを聞いたから。

理恵はなぜドキッとしたのだろうか。

登場人物について

小さな一歩